

5月25日(水) 道德科学研究所講演会 講演要旨

文責：研究会委員会 委員長
道德科学研究所 研究員
竹中 信介

モラロジー道德教育財団顧問で、麗澤大学名誉教授・東京大学名誉教授の伊東俊太郎先生をお迎えし、「精神革命」と「科学革命」ー宗教と科学の統合は可能か？ー」と題して、講演いただいた。伊東先生は、まず「精神革命」と「科学革命」の概要をお話しになり、それぞれの人類史的な意義を確認された。その上で、「倫理は教会に、真理は科学に」という「宗教と科学」を分離的にとらえる「二重真理説」の立場を乗り越えるべく、「ともいきの絆」としての「宇宙連関」の必要性を論じられた。

この宇宙連関を軸とした世界観のもとでは、「宗教と科学」は対立することなく共存し、ホリスティック(全体的、統合的)に世界を捉えることが可能になる。それにより、たとえば環境問題や核兵器などの人類的な課題から、人間関係やコミュニケーションなどの身近な問題に至るまで、現代的な諸問題を考えていくためのヒントを得ることが可能となる。質疑応答では、AIとシンギュラリティ(技術的特異点)の問題や、宇宙連関において、「真・善・美」の「美」はどう位置づけられるのかという問いなど、活発な議論が繰り広げられ、会場が熱気に包まれたまま終了を迎えた。

以上